

A decorative graphic consisting of three concentric, light blue circular lines that are open at the top and bottom, framing the central text.

第3章

計画の基本的な考え方

第3章 計画の基本的な考え方

1 「生涯学習推進計画 2014-2018」の振り返り

町田市教育委員会では、2014年3月に町田市における生涯学習施策の全体像を体系的に示す初めてのアクションプランとして「生涯学習推進計画 2014-2018」を策定し、以下のような施策を進めてきました。

そして、振り返りをおこなう中で、継続して取り組むべき課題や社会情勢の変化に由来する新たな課題を以下のとおり認識しました。

施策1 学習機会の提供

主な取組	成果
○子どもから高齢者まであらゆる世代に学習機会を年間を通じて提供	○親と子の交流ひろば事業や小・中学生向けのブックトーク*等を実施しました。
○生涯学習に関する情報を幅広く収集し、提供する情報収集・発信機能の確立	○季刊生涯学習NAV Iの発行、町田子育てサイトと連携した情報発信のほか、図書館、文学館ではSNS*による情報発信を開始しました。
○市の各部署や関係機関との連携による学習機会の充実	○市の各部署との連携を促進するための連絡会を立ち上げ、大学連携をテーマに「学生との協働、連携ポイント集」を作成し、職員に周知しました。

(今後の課題)

- ・事業アンケートの結果でも、育児に関する悩み・不安の声が聞かれます。家庭教育を支援できるよう、保護者向けの学習機会の提供や環境づくりを引き続き進める必要があります。また、子どもの頃から読書に親しんでもらえる環境づくりを引き続き進める必要があります。
- ・学習情報を市民により効果的に届けられるよう、例えば他団体が発行している情報誌との連携を図るなど情報発信の手法について検討する必要があります。
- ・多様化する学習ニーズにより幅広く応えられるよう、大学図書館など関係機関との連携をさらに深めていく必要があります。

*ブックトーク：本の面白さを伝えたり、本への関心を高めるため、図書館員等が複数の聞き手に、ある一定のテーマに沿って本の内容を紹介すること。

*SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、会員制のサイト上で写真や文章等を公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービス。

施策2 自主的な学習の支援

主な取組	成果
○地域の課題解決に向けた市民団体等への資料・情報提供などによる活動支援	○鶴川地区協議会が開催している「3水スマイルラウンジ」へのプログラム活動支援を行うとともに、関連資料を鶴川駅前図書館内の展示コーナーに設置しました。
○学習施設の貸出による市民の継続的な学習活動の場の提供	○2017年度からは施設予約システムにおける個人登録制度を開始するとともに、代表者の年齢要件を20歳以上から18歳以上に緩和しました。
○新たな学習意欲につなげるための市民の学習成果を活かす機会の充実	○生涯学習ボランティアバンク事業の普及促進のため、一日体験講座を実施しました。

(今後の課題)

- ・地域の課題解決に向けて住民自らが行動できるよう、さらに学習活動を支援していく必要があります。
- ・より多くの市民に学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、さらなるPR活動を進める必要があります。
- ・生涯学習ボランティアバンク事業の実施手法や、さらなる普及促進のための取り組みについて検討し、事業を推進する必要があります。

施策3 学習環境の整備

主な取組	成果
○地域図書館の新設による学習施設の充実	○2015年5月に忠生市民センター内に忠生図書館を開館しました。
○図書貸出サービスの充実による利便性の向上	○図書館全館でICタグを利用したセルフ貸出・返却システムを導入しました。また、子どもセンターぱお分館、成瀬コミュニティセンターで、図書館資料の予約資料受渡サービスを開始しました。
○学習事業や施設運営の改善につなげることを目的としたPDCAサイクルによる事業評価の導入・運用	○生涯学習センター運営協議会や図書館協議会等外部委員による事業評価を実施しました。

(今後の課題)

- 大学図書館や地域文庫、まちライブラリーなど本に触れることができる施設が市内の各地域にある利点を活かし、これらの施設と連携して読書活動を推進する必要があります。
- 今後の社会状況の変化やニーズの多様化を見据えた施設運営、事業の実施手法等について検討する必要があります。
- 市民のニーズや社会の変化に対応した学習環境を提供していくために、施策や事業の検証、調査・研究を行い、さらなる改善につなげる必要があります。

施策4 文化資源の保全・活用の促進

主な取組	成果
○町田の歴史やゆかりの作家などを紹介する展示・展覧会等の定期的な実施	○展示・展覧会等の定期実施のほか、2016年には文学館で開館10周年、自由民権資料館で開館30周年を迎え、これを期に、それぞれ通年で特別イベントを開催しました。
○遺跡や古民家などの適切な整備・改修による良好な状態での維持管理	○高ヶ坂石器時代遺跡 *は牢場遺跡の整備工事を実施し、敷石住居の覆屋建替え工事が完了しました。 村野常右衛門生家 *は保存工事が完了しました。
○指定文化財制度で対象外であった文化財を保護・周知する登録文化財制度の導入	○現行の指定文化財制度を補完するものとして、2015年4月に新たに登録文化財制度を導入しました。

(今後の課題)

- 子どもの頃から町田市の歴史や文化、文学により多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施など、引き続き出張事業を進めていく必要があります。
- 貴重な文化資源を後世に伝えていけるよう、適正な維持管理を継続して行っていく必要があります。
- 地域への愛着や誇りを育むきっかけとなるよう、地域の文化資源の公開・活用を一層進めていく必要があります。

*高ヶ坂石器時代遺跡：牢場・稻荷山・八幡平遺跡の3地点からなる縄文時代の集落跡。国内で初めて敷石住居跡が発見（牢場遺跡）され、大正15年に国の史跡に指定された。

*村野常右衛門生家：町田を代表する自由民権運動家の生家。野津田公園内に移築復元されている。

2 「生涯学習推進計画 2019-2023」について

「生涯学習推進計画 2014-2018」は生涯学習部が所管する事業を全般的に記載していました。「生涯学習推進計画 2019-2023」では、10ページから12ページに記した「今後の課題」を着実に解決するため、今後5年間に重点的に推進していくべき取組を定めるものです。

3 教育目標と基本方針

「教育プラン 2019-2023」では、「教育目標」と「基本方針」を以下のとおり定めています。

○教育目標

夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。
生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。

○基本方針

- I 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす
- II 充実した教育環境を整備する
- III 家庭・地域の教育力を高める
- IV 生涯にわたる学習を支援する

4 教育プランとの関係と計画の構成

「生涯学習推進計画 2019-2023」は、「教育プラン 2019-2023」で定める「教育目標」と「基本方針（Ⅲ・Ⅳ）」を受け、それを実現するための施策と、課題解決に向けた取組からなります。なお、教育プランで定めた「重点事業」を中心に39の取組を定めています。

